

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	金山さくらんぼ教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 20日		～ 令和7年 2月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 20日		～ 令和7年 2月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・こども園や支援センターと併設しているため、連携が取れ子どもの様子が分かる。担任や支援員と情報交流ができる。また、欠席等に柔軟に対応できる。	・園の行事への参加 ・クラスの見学をし、担任支援員との情報共有をしている。 ・担任、支援員以外にも園の保育士にもさくらんぼ教室の見学ができるようにしている。 ・出席児、欠席児の把握	・クラスの様子をじっくり見学できる時間を確保する。
2	・広いプレイルームや個室の指導室があり、活動の幅が広がる。	・プレイルームではサーキット遊び等、身体を動かす遊びを思いきり楽しめるようにしている。 ・指導室では椅子に座って机上での活動ができ、製作など(はさみ、のり、鉛筆など)指を使った遊びが楽しめるようにしている。	・活動に合わせた環境設定を今後も考える。
3	・他の事業所からの人事異動ではなく、併設している園からの異動の為、子どもの様子を知っている保育士が入室児と関わる事ができる。	・指導員を長期固定しない人事異動を考えている。 ・新年度には子どもの様子の引き継ぎを丁寧に行っている。	・今後も丁寧な引き継ぎを行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・子どもの減少により、指導の空きができてしまう。	・出生率の低下	・指導時間、内容の見直しを行う。
2	・市さくらんぼのつどいへの参加者が少ない。	・開催場所が遠い ・つどいのイメージが持てない ・知らない保護者との交流への戸惑い ・働いている保護者が多い	・つどいへの内容をより具体的に伝え、個別にも参加を呼び掛ける。 ・保護者にどんな内容のつどいなら参加してみたいと思うか等のアンケートを取り、内容を考える。
3			